

2018 年度歴史地震研究会 第 5 回幹事会議事録

場所:地震予知総合研究振興会小会議室

日時:2019 年 6 月 7 日(金) 17:00~19:30

出席者:松浦(会長),堀川(副会長),諸井(財政),馬場(行事・skype),加納(広報),行谷(編集出版),中村(監査),植竹(監査),大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び会費受取状況(財政)

【資料 1】入退会申請及び会費受取状況

【資料 2】2018 年度会費の未納会員(2019 年 6 月 6 日現在)

・入退会者

- ✓ 入会申請 3 名:佐々木氏、岡村氏、石瀬氏 退会申請 1 名:高山氏 ほか住所変更 3 名
- ✓ 会員数 317 名(年度末退会予定 5 名) 実質 312 名 →入会者を承認

・会費状況

- ✓ 220 名納入済 97 名未納
- ✓ 督促状はメールで送付
- ✓ 今回は今年度分のみ督促,以前の未納は人により違うので保留
- ✓ 「6 月末までに入金がない場合は会誌 34 号の送付が通常より遅れる」とする
- ✓ 来年の督促は時期的に 1 ヶ月早いとよい
- ✓ 今年度以前の未納分は追ってリスト整理する

→未納者リストはメールアドレスなど調整のうえ督促状を送付

2. 研究会会則の改正について

【資料 3】各学会の会費支払方法、滞納対応、減免・休会制度について

・会員資格停止や退会,休会の制度化について

- ✓ 各学会の制度を調べると滞納期間などで会員資格停止などを明記する例が多い
- ✓ 会員資格停止などの制度を会則に明記するほうが良い
- ✓ 会則に明記すれば自動的に処理しやすい
- ✓ 2 年間会費滞納により会員資格停止(退会?)が良い
- ✓ 連絡の取れない場合の対応も必要
- ✓ 滞納分がある場合に退会時に全納で良いのでは
- ✓ 休会については制度化しない
- ✓ 1 年滞納で会誌送付停止,2 年で資格停止(退会?)にすれば良い
- ✓ 「次の場合は退会とする」といった条文も作成

→会則を改定する方向で徳島大会の総会で諮る.改定案は次回幹事会までに総務が作成

3. 2019 年徳島大会の準備および申し込み状況について(行事)

【資料 4】2019 年歴史地震研究会(徳島大会)準備状況

【資料 5】第 36 回歴史地震研究会(徳島大会)プログラム

【資料 6】(公開講演会チラシ)

- ✓ 初日の公開講演会について,徳島大学が主催で入れば会場費不要とのことであったが,徳島大単独

主催でない¹と無料にはならない²とのことが判明。研究会単独主催になると会場費が発生するが予算に計上済なので問題はない

- ✓ 後援手続きについて、環境防災センターは完了、県立文書館は手続き中で近日中に完了
- ✓ 会場は仮予約済（¥133,660）→申請書・契約書等を作成し本予約手続き開始（6/28）
- ✓ 事務局準備のノート PC について
→今回は発表者それぞれ PC 持参の予定、Mac 使用予定者 6 名は互いに調整してもらう
念のため大会事務局（徳大）でも用意
- ✓ 申し込み状況：57 件（口頭 39 件，ポスター 18 件），懇親会 14 件，巡検 12 件
- ✓ プログラム案【資料 5】
- ✓ ポスター用パネル 30 枚（独立して立つもの）を確保（A0 版縦）
- ✓ ポスターは 2 日目朝 3 日目終了まで掲載可能
- ✓ 座長はこれから依頼
→プログラム案を了承
- ✓ 公開講演会のチラシを作成，タイトルの（仮）は取れた。後援が決定したら印刷し広報。会の HP にも掲載
- ✓ 出席者数を控えておき記録に残すと良い
→受付で名前を記入する方法をとることで決定
- ✓ 助成金は申請済
- ✓ 領収書は財政が作成
- ✓ 受付（お金の管理）は財政のほか 1～2 名（アルバイト扱い等については確認）
- ✓ 大会セットを確認
- ✓ 会場費は 8 月以降に支払い（6/10 財政発信メールで確認）

4. 2020 年伊賀大会について（総務）

→伊賀市から後援をもらうにあたって会長が市を訪問することに決定。時期は後日調整。

5. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

【資料 4】『歴史地震』の編集について

【資料 5】別紙 1 御見積書

【資料 6】別紙 2（会員向挨拶状）

【資料 7】別紙 3（研究会だより案）

【資料 8】別紙 4（図書館向挨拶状）

【資料 9】「研究会だより」32号～34号（予定）内容比較

・編集状況ほかについて

- ✓ 34 号の分量は例年と同程度，口絵の希望者はいなかった
- ✓ 6 月 20 日頃入稿予定→編集委員会内でゲラ校正 7 月 8 日↗→7 月中旬に発行送付予定
→会費滞納者への対応もあるので発送は遅らせてもよいが 7 月末までには届けたい
- ✓ 概算見積：税込 680,196 円※値引き適用【資料 5】紙が値上がりしている
- ✓ ページ数，部数が決まり最終的な見積は後日連絡
- ✓ 担当者が休暇中なので見積書は見直しが入る予定（消費税など）
- ✓ 挨拶状に記す総会資料の掲載時期について 8 月末で確認

- ✓ 挨拶状の問い合わせメールアドレスについて確認
- ✓ 挨拶状の会計年度について2行目「年度初めの9月末」→「年度初めの8月末」に変更
- ✓ 図書館への挨拶状は堀川副会長（リスト管理者）を連絡先にすることを確認
- ✓ 管理が別となっている会員送付先リストと図書館等送付先リストの送付、払込用紙については後日調整を行う
 - 両リストは編集が取りまとめた上で前田印刷に送付（6/20 編集発信メール）. ただし会費督促中なので会員送付先リストは振込期限の6月末以降に確定する. 確定以降の7月上旬にリストを送付し幹事会メール審議により発行部を決定（6/21 編集発信メール）
- ✓ 34号の印刷・製本・配送代は7月末までに支払い（6/10 財政発信メールで確認）
- ・前回議事録の「編集出版」部分の修正と16号以前原稿掲載の取扱いについて
 - ✓ 16号以前の原稿について会の姿勢は問題ないか
 - ✓ 16号以前は国会図書館で閲覧できる旨をHPに掲載するのが一番良い
 - 国会図書館に関する部分の議事録は修正しない方向で決定し、議事録の不要部分は削除
- ・「研究会だより」の掲載内容に関して
 - ✓ 34号も33号のスリム化された「研究会だより」を引き継ぐ方針だが、大会の案内と原稿募集は掲載する
 - ✓ Webで見られるものはそちらで閲覧してもらうのが良いが、記録に残すという意味もある
 - 原則スリム化し、会則などの変更があった場合やページ数が少ないときに載せることに決定
 - 文量の多い今年度の3・4回分議事録は圧縮して掲載する方向で決定
 - 会員向けメーリングリスト入会は info_mem_hes 宛に送るよう明記

6. ホームページおよびメールアドレスについて（広報）

【資料10】（広報資料）※前回からの作業、今後の作業、現在のメールアドレス一覧

- ・ホームページの更新案について
 - ✓ 新HPへの移行はまだしていないが、すでに16号以前の原稿についての国会図書館への案内などは掲載済
 - ✓ Flashでないものに早く移行すべきなので来週移行の予定
 - ✓ 17号は目次しかないがPDFの公開に問題はあるのか確認する
 - ✓ 当面URLなどはブックマークしている人などもいるので移行期間を設ける
 - ✓ 徳島大会の第3報をすぐに掲載
 - ✓ 2018年度のホームページ管理費は7月末までに支払い（6/10 財政発信メールで確認）
- ・会のメールアドレスについて
 - ✓ 現在広報用（メーリングリスト管理用）になっている info_mem_hes を対外的な問い合わせメールアドレスにする
 - ✓ Webmaster は info_mem_hes と重複しているので統合する予定
 - info_mem_hes は会員用、Webmaster は会員以外のはずなので役割を明確にし両方存続
 - Webmaster をHPに載せ問い合わせ用にすべき

7. 2019年功績賞の準備状況について（副会長・総務）

【資料11】2019年歴史地震研究会功績賞の準備状況について

- ✓ 文案を作成したがこれでよろしいか →承認

- ✓ 功績賞の通達は総会内でおこなうものとする（議事次第に入れる）
- ✓ 受賞者には改めて通知
- ✓ 受賞者は懇親会で挨拶してもらうことで決定
- ✓ 功績賞経費（賞状代・交通費）は来年度経費としてまとめて8月以降におこなう（6/10 財政発信メールでも確認）→荏原印刷より8月支払いで問題ない旨確認（6/17）
- ✓ 見積り・発注は堀川副会長が担当

8. その他

・2021年大会の開催地について

【資料】2021年大会について

- ✓ 北大西村先生がお引き受けくださる
- ✓ 北海道胆振東部地震から3周年
- ✓ 開催場所は北海道苫小牧市周辺と松前町周辺の2案あり
→苫小牧市周辺が良い
- ✓ 講演会の演題についても案あり
- ✓ 巡検場所も両地点それぞれに予定候補があるが、歴史的 or 地質的どちらかに偏る
- ✓ 開催日を第1週目（地震から3周年として）にもってくることは可能か
→第1週だと地質学会とかぶるが、西村先生の都合次第
→会としては第1週で問題ない
- ✓ 北海道大会開催プランを承認するか、承認するのであれば会として正式に依頼できるか
→書面が必要であれば出すが、そうでなければ特に正式なものはない
- ✓ 大会準備のための経費（交通費など）は研究会から出せる（21年大会準備金として総会に予算を計上すれば9月から使える）
- ✓ 2022年は高槻大会か？

・会費振込み方法の省力化について

- ✓ 現状では自動引き落としなどへの変更は難しい（手数料など）
- ✓ ネットバンキングでも可能な旨など各方面に明記
- ✓ 郵便振替だけでなくコンビニ ATM や銀行などでも振込可能な旨も記載

・後日（6/10）財政より

2019年7月末までに支払いすべき項目は以下の通り

- ◇ 2018年大分大会の収入と支出
- ◇ 歴史地震34号の印刷・製本・配送代
- ◇ 大分大会での功績賞の関連費
- ◇ 2018年度ホームページ管理費
- ◇ その他、会議費、雑費等の2019年7月末までの実費

○次回幹事会は8月8日17時～開催の予定

以上